

# ペットとの同行避難について

令和2年

富岡市

富岡市では、東富岡体育館（住所：富岡市田篠1238-8）をペットとの同行避難を可能とする専用の避難所として指定しました。

また、施設管理者等との調整が取れ、避難所の屋内施設に場所を確保できる施設についても、ペットとの同行避難を受け入れます。

なお、ペットとの同行避難の受け入れ対応状況については、避難所開設後、各施設に確認してください。



これらの避難所を使用するにあたっては、次ページの項目を基本的な考え方とします。

## ペットとの同行避難に係る基本的な考え方

- 同行避難が出来るペットは、避難所への同行避難を想定する犬や猫などの小動物を対象とします。人に危害を加えるおそれのある動物は受け入れることはできません。
- 同行避難したペットを施設内に入れる場合は、ケージに必ず入れること。なお、ケージは飼い主が準備すること。  
※ケージに入らない大型のペットについては、雨に濡れない屋根やひさしのある場所を利用し、リードにつないで同行避難することは可能です。
- ペットへの備蓄食料の用意はありません。飼い主が持参してください。
- 「待て」「お座り」「伏せ」などの基本的なしつけがなされていること。
- 不必要に吠えないようしつけがされていること。
- 人や他の動物を怖がって、攻撃的にならないこと。
- 排泄処理は各自責任をもって行なうこと。
- 不妊・去勢手術を行なっていること。（ケージに入れる場合は除く）
- 狂犬病予防接種などの各種ワクチン接種を行なっていること。
- 犬フィラリア症など寄生虫の予防、駆除を行なっていること。

※避難所には、それぞれ特性があり、また、施設の構造や運営要領なども異なることから、上記以外の決まりごとがある場合があります。詳しくは避難所開設後の当該避難所施設管理者等にご確認ください。

## ペットとの同行避難にあたっての注意点

### ◎ 人とペットの安全確保

災害が発生した場合は、まず自分の身の安全を第一とし、落ち着いて自分とペットの安全を確保します。突然の災害で、ペットもパニックになり、いつもと違う行動を取る場合も十分考えられるので、ペットを落ち着かせるとともに、逃げ出しやケガなどに気をつけることが必要です。

その際、リードをつけたり、ケージに入れるなどして、ペットの安全に配慮することが重要です。

### ◎ ペットとの同行避難

避難する場合、飼い主はペットと一緒に避難する「同行避難」が原則となります。災害発生時に外出しているなど、ペットと離れて行動していた場合は、自分自身の被災状況、周囲の状況、自宅までの距離、移動手段の有無、避難指示等を考慮して、飼い主自身によりペットを避難させることが、可能かどうかの判断が必要となります。

### ◎ 避難所におけるペットの飼育マナーと健康管理

避難所では、様々な人が集まり共同生活をするため、動物たちとの暮らしが苦手な方やアレルギーのある方もいることを強く意識しなければなりませんし動物によるケガの発生や鳴き声に対する苦情、体毛や糞尿処理など衛生面でのトラブルも各地で発生しています。

避難所では、ペットの飼育管理は飼い主の責任で行うのが原則となります。衛生的な管理を行うとともに、周りの人たちに配慮することも求められます。

また、ペットは、ストレスから体調を崩したり、病気になりやすいため、飼い主はペットの体調に気を配り、不安を取り除くよう努めることも大切です。